

ひまわり通信 SSKS No.110

令和五年度連協福島施設見学会

代表理事 隅一清

今年も連協の参加団体、総勢四十五名の参加者が大型バスと福祉バスで九月三日（日）、福島へ向けて世田谷を出発しました。

首都高速から常磐道に入り、友部SAで昼食をとりました。バスのエアコン故障により、バスをチエンジするというトラブルもありましたが、再び常磐道を走り富岡ICで降り、国道六号線を北上して最初の目的地である『とみおかアーカイブミュージアム』に到着しました。

津波に襲われた時の生々しい映像が、モニターに映し出され今更のように、その恐ろしさが身に染みてきます。

見学後は、またバスに乗り今宵の宿となる『なぎさの湊夕鶴』に到着しました。

団体ごとに部屋をもらつて、部屋で一休み。朝早くからのバス旅の疲れを温泉に入つてのんびり癒しました。

夜の宴席には、連協ではおなじみ東北出身

のコルカさんに来てもらい、宴席を盛り上げて頂きました。

二日目は、今回初めて見学する事になった『震災遺構浪江町立請戸小学校』を視察しました。校舎の二階まで押し寄せた津波の跡が、

昨日の事のように感じられる様子が目に飛び込んできました。

皆さん声もなく、眺めているのが精一杯といつた感じでした。

二日間の

福島施設見学会でした



が、現地では皆様明るく元気に日常を送っていました。
帰路は、まだ帰宅困難区域に指定されていて住民が誰も居ない小熊町などを見ながら、再び常磐道を南下して世田谷上町へ戻つて来ました。
平穏無事に毎日生活していることに感謝しています。
今年も残りわずかになりました。

福島施設見学会スナップ



ひまわり句会

菅野 孝夫 選

打水や開店前

のひとしのぎ
浅草の餃子を食べて帰りけり
海水浴帰りの孫の歯の白さ

八朔の朝日眩しく孫生る

約束をしたがのやうに彼岸花
打水や開店前のひとしのぎ
浅草の餃子を食べて帰りけり
海水浴帰りの孫の歯の白さ

八朔の朝日眩しく孫生る
約束をしたがのやうに彼岸花

藤田勝美

蛇苺踏んで思はず謝りぬ
しじみ蝶飛んでるなり雨あがり
ひとりの夜秋の足音聞えけり
満月の上つてちようど目の高さ
語ること語りたきこと盆の月

羽山貴子

大谷のり子

橋の上蝙蝠飛んで日が暮れて
音のする方の窓開け花火の夜
布袋葵咲いて目高の子が元気
日の温み残るトマトのほひかな
猫じやらし屋敷稻荷を取り囲み

亀井歌子

白南風や刺身揚揚げ浅蜊飯
魂送り白玉団子九人分
頭から水かけられて神輿来る
坂道の軽き足どり今朝の秋
九十歳目指す散歩や秋日和

馬場保花

草の花生けてひとりの昼下り
さよくれの心の痛み冬隣
寝返りを打ちて窓辺の冬の月
小雪やローズマリーに蜂の来て
冬晴やイクイノックス駆け抜け

行事報告

◎暑気払い食事会

於木曽路碑文谷店

八月二十日(日)

暑気払い会は、コロナ禍で中止が続き四年ぶりの開催になりました。

以前は、イタリアンレストランで行つていましたが、近所によい店がなく、最近は事務所前の中華レストランか木曽路になつてしまひます。

今年は、木曽路の昼懐石で暑気払いをしました。

久しぶりに皆さんと美味しいお酒と松茸料理と愉しむことが出来て良かったです。

今年の夏は、猛暑日の連続で本当に暑気払いをしたい感じの夏でした。

この原稿を書いている十二月中旬も連日暖かい日が続いて、歳の暮を感じません。

山の方でやつと雪の便りがニュースになります。

半月遅れでスキー場がオーブン出来るようですね。ス

ケートリンクでは氷が張らずにオーブン出来ないとか。

暖冬は我々には助かりますが、困る人もいるのですね。



（訃報）

参加者 二十名



◎九月日帰りバス旅行 くりはま花の国公園

九月二十四日(日)

久しぶりに『くりはま花の国公園』に、コスモスの花を見に行きました。

ここは入口から汽車の形をした乗り物で、一気に山頂まで登つて行きます。

山頂からは、東京湾フェリーの横須賀乗り場が眼下に見えます。東京湾を一望できる絶景ポイントです。

丁度、黄花コスモスが満開で、折からの風に吹かれ波の様でした。

コスモスの花とは別に、百日草も赤黄白ピンクなど、色とりどりの花を咲かせていて綺麗でした。

散策の後は、入口左側にあるレストラン『うおくに』で昼食をいただきました。

天候にも恵まれ、帰りは市場に寄つて、夕食の材料を買つて帰路につきました。

参加者二十五名

◎十月日帰りバス旅行 渋沢栄一記念館

十月十五日(日)

秋の一泊二日福島研修旅行は参加者が少なく中止になり、代わりに日帰りバス旅行として、来年新紙幣の顔となる『渋沢栄一記念館』を見学に行くことになりました。

コースから昼食場所など、栄樂観光の高原社長にすべて丸投げでお願いして実施いたしました。

結果すべて満足なので、これからは全部お願いしたら?との意見でした。

渋沢栄一記念館は、埼玉県深谷市にあります。

深谷ネギで有名な所ですが、折からのネギ不足?が影響してか、道の駅にも街にもネギの姿はどこにも見当たりませんでした。

昼食に、おしゃれな『お米cafeさかもと』で、美味しい釜めしを食べてから、記念館を見学しました。

参加者 十八名

◎十一月日帰りバス旅行

箱根大涌谷 十一月十九日(日)

世田谷区から提供の大型福祉バスで、箱根へ行つてきました。

当初の予定では、東名高速も一号線も大渋滞するとの予想でしたが、渋滞は大涌谷の駐車場渋滞だけでした。渋滞で駐車場に入るのに一時間ほど掛かりましたが、無事に大涌谷に到着し黒たまごを購入できました。

その後、芦ノ湖の遊覧船発着場所にある『箱根関所旅物語』という仰々しい名前のレストランで、関所定食を食べました。

帰路は、箱根新道を下つて箱根湯本にて、一号線で小田原厚木道路から東名で、海老名SAで夕食の買物をして帰りました。

世田谷区の提供バスは、普通のバスだと一年に二回、福祉バスだと年に一回利用できます。

◎二月日帰りバス旅行

都内巡りの旅 三月十日(日)

東京に八十年以上も住んでいて、スカイツリーに昇ったことが無い私ですが、今回のバスの旅に参加して昇れそうです。



行事予定

◎一月新春新年会

恒例の新年顔合わせの会を、今年も事務所の前にある『華空間』で開催します。

大騒ぎしたコロナ禍も、忘れたようなこの頃ですが、今年も元気に過ごせるように、愉しいお酒を飲みましょう！

・日時 一月二十一日(日)十二時～十五時
・会費 一人六千円
・送迎 希望者は無料で送迎します。
※参加希望者は一月十日までに事務所へご連絡下さい。

編集後記

今号も発行が一ヶ月遅れてしまいました。

頭ではわかっているのですが、なかなか行動に移せなくなっています。

カレンダーには、発行日もちゃんと書いてあるのですが…。

昔は、行事にしても先に先にと体が動いたのですが、七十を越したあたりから、頭は動いても体が動かなくなりました。

今年は米寿で、先日皆さんにお祝いしてもらいました。立派な胡蝶蘭が、事務所の入口で皆様を迎えていきます。

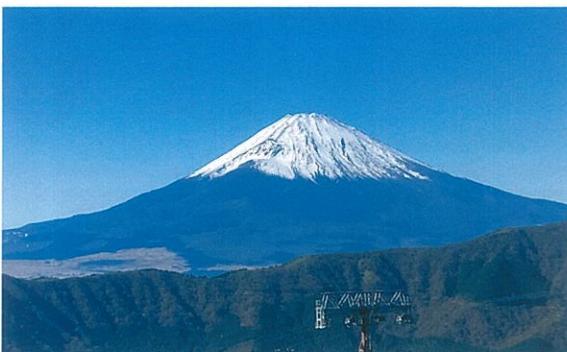
お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

今年も終わりですね！



ボランティアの方々もありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。

参加者三十一名



「ひまわり通信」110号

2024年1月4日発行

編集

集

特定非営利活動法人

ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者

隅

一清

F T 住 所

世田谷区野沢3-4-18-102

A E

03-3487-5081

人 X L

03-3422-9281

発行者

世田谷区砧6-26-21

障害者団体定期刊行物協会

(定価100円)